



長小だより

H30. 10. 1

10
月号



心の居場所

朝夕めっきり涼しくなり、本格的な秋を感じる季節となりました。去る9月24日は中秋の名月では、「お月見どろぼう」で子供たちは盛り上がったのではないのでしょうか。

さて学校では、9月13日～14日に実施された5年生のキャンプを皮切りに、2学期には「おまつり」、「学習発表会」、「小学校球技大会」、「音楽発表会」、「修学旅行」など多くの行事が予定されています。そしてすでにその準備や練習が本格的に始まっています。多くの時間と労力を費やして練習や準備に取り組むため、成就感や達成感などを感じることができ、大きな成長につながると信じています。また子供たちがこの行事に取り組むことで、隠れた副産物として、「心の居場所」づくりに大いに貢献していると考えます。

文科省は、「自己の存在感を実感でき、精神的に安心できる場所」のことを「心の居場所」と定義し、学校生活の中で積極的に「心の居場所づくり」を進めていく必要があると説明しています。

準備を進めたり練習に取り組んだりする活動の中では、一人でやれることには限界があり、どうしても他者（他の児童）とかかわり合い、影響し合うことが必要になります。この時に自己主張が強すぎると他者からの反発があり、協調性が求められます。他者の良さを認め合い役割分担がうまくできなければ、チームワークは生まれてきません。従ってこれらの活動中では、どうしても「他者からの指摘を受ける」、「自分の考えを再構築する」といった心の痛みが伴います。時にはその痛みに耐えきれず、挫折や葛藤を体験することでしょう。

しかし、この挫折や葛藤を乗り越えて他者との間に信頼や絆が生まれた時、さらに集団（学級）としてまとまりをもって活動できた時には、大きな自信や喜びが生まれ、自分の財産となることでしょう。つまり、その集団（学級）の中に「心の居場所」を得ることができ、他者に対しても仲間意識が芽生えてくることでしょう。この2学期の活動を通して、多くの児童が「心の居場所」を見つけてくれることを信じています。
(文責 校長 村上圭三)

着衣水泳・野外活動

9月5日に3年生・5年生の児童対象に着衣水泳が行われました。例年、日本赤十字の方をお迎えして行います。5年生は3年生の時にも経験しているので、落ち着いて参加できました。いつもできることが、心の状態によってはできなくなることがあります。体験することで緊急時に落ち着いて行動できるのではないのでしょうか。

また、9月13日～14日に実施しました5年生の野外活動では、天候が心配されましたが、全てのプログラムを予定通りに行うことができました。大自然の中で、日常と違う経験をすること。友達と協力して過ごすこと。ここまで準備してきたことを成し遂げること。どれも子供たちの糧となっていくと思います。これらの頑張りを、今後の学校生活に十分反映させてほしいと思います。



☆ 秋の交通安全運動・あいさつ運動、ありがとうございました。9月から岩2北・岩5西の2つの分団が新しい通学路で登校しています。地区の方には、連絡や調整、また、登校・下校の見守り等児童が安全に登下校できるように活動頂くなど、様々なご協力ありがとうございました。

☆ 2学期から、稲垣生己（いながき なるみ）が学習指導補助に入りました。個別対応やT・T指導を行います。よろしく願いいたします。

☆ 9月19日は授業参観・修学旅行説明会にお越し頂きありがとうございました。大勢の参観者に普段よりも緊張気味の子供たちでした。今後も「学習発表会」「おまつり」と行事が続きます。持ち物や衣装の準備をお願いすることが多いと思いますが、ご協力よろしく願いいたします。

ところで・・・困っています

以前から下校時に駐車場が一杯になり、来客や調子が悪い児童を迎えにみえた保護者の車が、駐車場に入ることができない状態になっています。亜炭鉱の工事もあり、普段よりも狭くなっています。先日は、駐車場内での接触事故がありました。もちろん、無理な願いをするつもりはありません。駐車場が手狭で申し訳ありませんが、対応を考えて頂ければありがたいです。

